

## ● 聴読解問題スクリプト

### Track 4

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

### Track 6

1 番 女子学生と男子学生が、大学の集中講座のウェブページを見ながら話しています。この女子学生が受講したいと思っている講座はどれですか。

女子学生：集中講座、何か受講するの？

男子学生：うん、これ。農作業ロボットだって。面白そうじゃない？

女子学生：うん、面白そうだね。私は何がいいかな。

男子学生：この、鈴木先生って、昆虫を農薬として使って植物を栽培する研究では、第一人者だよ。

女子学生：へー。昆虫農薬ねえ。でも、もっとわかりやすいのがいいな。人間と動物の関わりとか、どうしたら動物と人間が安全に暮らせるかとか、そういうことに興味があるんだけど。

男子学生：じゃ、動物科学か環境学は？ 動物科学の先生は、河川に住む生き物の食害がテーマ。環境学の先生は、森林保護などの問題がテーマだね。

女子学生：最近、クマやイノシシが農作物に被害を与えて問題になってるって聞いたけど、里山を守ることも関係があるよね。これにしようかな…。

男子学生：人間も動物も住みやすい環境づくりについて考えるんだったら、それがいいんじゃない？

女子学生：そうだよな。これにする。

### Track 7

2 番 先生がムササビという動物の、葉っぱの食べ方を説明しています。この先生の説明によると、ムササビが柔らかい葉を食べた後の図はどれですか。

ムササビという動物は木の上で生活をし、手先がとても器用です。葉を食べる時は、上

手に手を使って葉を折ってから食べます。かたい葉は二つ折りにして折れ目のところをかじるようです。すると葉にはVの字形の菌形が残ります。また、柔らかい葉は四つ折りにして食べることが多いので、食べた後で葉を開くと、まん中に穴が空いています。このように葉の食べ方に特徴があるので、葉に残っている食べた跡を見れば、ムササビがそこにいたことがわかります。

#### Track 8

3番 先生がマーケティングの授業で、広告の機能について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

広告は本来、企業の販売促進のためのものです。つまり、商品やサービスについての情報を消費者に提供し、商品の売り上げを伸ばすのが最も本質的な機能といえるでしょう。この資料は広告の機能を分類したのですが、先ほどの、購買行動へ導く販売促進機能は、1の「営利的機能」にあたります。一方、「非営利的機能」とは社会への問題提起をし、人々の意識を高める機能です。また、「イメージ創造機能」は企業や商品ブランドのイメージをいっそう高める機能で、「社会・文化的機能」というのは、広告が人々に話題や娯楽を提供し、社会的に新たな文化を作り出す機能のことです。

では、具体例で考えてみましょう。広告で使われた表現が、その年の流行語になることは珍しくありません。それは、その表現が時代の感覚や社会の状況にぴったりと合っていて、人々がそれに面白みを感じるからでしょう。そんな広告は、この中のどの機能を持っていると考えられますか。

#### Track 9

4番 先生が、ある情報整理法について説明しています。この先生が注意が必要だと言っているのは、この方法のどの段階についてですか。

えー、情報整理には様々な方法がありますが、その一つをご紹介します。この方法には四つのステップがあります。初めに、1枚のカードに一つずつ、テーマに関して思いついたことを書いていきます。一通り書き出したら、次にカードをグループに分類し、そのグループ全体を表す一文を書いたラベルカードを作ります。その後、グループ化されたカードを大きな紙の上に配置して、図式を作成します。このとき、内容的に近いと感じられたカード同士を近くに置き、カード間、グループ間を矢印で結んで関係を表します。最後に、配置されたカードの中から出発点を選んで隣のカードへとたどって行って、全ての内容が取り入れられるように文章にしていきます。

この方法で注意が必要なのは、関係作りをしていく段階です。このとき、重要な関係だけを選び出してカードを隣りに並べ、隣同士の間にだけ矢印を引きましょう。なぜかと言うと、文章にするときはいくつもの関係を明確に表現するのは難しいからです。

5 番 先生が、心理学の授業で、研究の方法について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

心理学研究における「観察法」とは、人間の行動を、観察、記録、分析し、行動の特徴や法則性を明らかにする方法のことです。観察法は二つに分けられます。まず「自然観察法」ですが、これは日常の場面で対象者の行動をありのままに観察する方法です。次の「実験観察法」は、研究者がある条件を設定し、それにとまなう対象者の行動や心理状態の変化を観察する方法です。

また、観察形態には、研究者が対象者と関わりながら観察する「参加型」と、関わりを持たずに観察する「非参加型」があります。「参加型」では、なぜそのように行動したのか、など、対象者に聞きたいことができたなら、その場ですぐに質問ができます。一方、「非参加型」では、マジックミラーやビデオを使用して観察するので、対象者に観察者を意識させずに、対象者の自然な行動を観察することができます。けれども、その場で対象者に質問することはできません。

では、たとえば、ある研究者が長期にわたって、保育園でいつもどおりに過ごす子どもと関わりながら、子どもの心理や行動についての観察を行うというのは、どの方法とどの形態の組み合わせと考えられるでしょう。

6 番 先生と学生が、授業でグラフを見ながら議論しています。女子学生はこのグラフをどのように解釈しましたか。

先生：このグラフは、ある地方における、場面による言葉の使い分けの変化を表したものです。家族に対し、共通語と方言のどちらを使いますか、という質問に対する回答をグラフにしました。上が1950年、下が1991年の調査結果です。このグラフから、どんなことが読み取れるでしょう。

男子学生：家庭内では方言だけで話す、という人がかなり減ってきてますね。どうもこの地方では、方言で話せる人が少なくなっているんじゃないでしょうか。

女子学生：いや、私はちょっと違う考えなんです。91年の調査で、家族と話すときに共通語と方言とが混ざる、という人の割合が多くなっていますね。

男子学生：ええ、そうですね。

女子学生：家族と話すときでも、話の内容などによっては、方言より共通語で話したほうがいい場合もあると思うんです。共通語と方言が混ざるっていうのは、実は、必要に応じて言葉を使い分けている、っていうことなんじゃないでしょうか。

男子学生：なるほど、そういう解釈もありますね。

7番 先生が、樹木による河川への影響について説明しています。この先生の話によると、倒れた樹木の周辺に多様な生物が生息しやすいのはどれですか。

樹木が河川の水の流れに与える影響について考えてみましょう。

上流域では、河幅が狭すぎて、倒れた木は橋になります。倒れた木がダムのような働きをするのは、倒れた木が向こう岸に届く程度の河幅のところでは、倒れた木とそこに引っかけた落ち葉などが水の流れを堰き止めるので、木の上流側は水がたまって流れにくくなるのに対し、下流側は水が速く流れ、木の上流側と下流側に対照的な環境がうまれます。そのため、そこには多種多様な生物が生息します。下流域では、河幅が広すぎるため、倒れた木は向こう岸まで届かず、障害物となります。

8番 男子留学生と女子学生が広報誌を見ながらボランティア活動について話しています。この男子留学生が、希望する活動に参加できない理由は何ですか。

男子留学生：市の広報に載ってたボランティア活動に申し込もうと思うんだ。

女子学生：へえ、いろんな活動があるんだね。どれにするの？

男子留学生：漢字が苦手だから、この朗読、ってのはちょっとね。お年寄りに接する活動がいいかなって思ってるんだ。ほく、大家族で育ったから、お年寄りの世話は慣れてるしね。あ、でも毎日は無理だから、こっちのにしようかな。

女子学生：家庭訪問とか、イベント企画ね…。あれ？これ、だめじゃない。

男子留学生：え？どうして？

女子学生：「活動内容など」のところ、よく読んでみて。

男子留学生：…ああ、ってことは、ほくは対象外ってことなんだね。

9番 先生が、バイオマス産業社会について講義をしています。この先生が説明しているのは、資料のどの部分ですか。

前回の講義では、生態系に対して有害な物質を出さないバイオマス資源を利用したバイオマス産業社会について話しました。今日は、その続きです。

皆さんは、ホタテという貝を知っているでしょう。実は、このホタテの貝殻は、大量に放置・廃棄され、社会問題となっていました。そこで、ある企業と大学が共同でホタテの貝殻の利用方法を研究したところ、化学物質の吸収・分解作用があることがわかりました。そこで、ホタテの貝殻から、家を建てるときに使われる塗料が開発されました。従来の建築材料に含まれる化学物質の中には、頭痛や吐き気などの原因になる有害なものがありま

す。しかし、ホタテの貝殻を使った塗料は、そのような化学物質を吸収・分解し、原因物質の濃度を減少させることができると注目されています。バイオマス利用の問題点の一つとして商品開発が未発達なことなどは後でも述べますが、ホタテの貝殻を使ったこの例は、よい見本になるのではないのでしょうか。

#### Track 15

10番 先生が生物学の授業で、同じ植物をえさにする動物AとBの競争について話しています。この先生の話グラフで表すと、どのようになりますか。

動物の種の間には厳しい生存競争があります。例えば、同じ植物をえさとするAとBと一緒に飼育すると、図1のように競争に負けたAがいなくなってしまう。

しかし、ある時点、つまり、図1のtの時点でAとBの両方を食べる別の動物、これを捕食者といいます。それを加えてみます。この捕食者が数の多い方を食べる場合、次のようなことが起こります。はじめは、BがAより数が多いので、Bが捕食者に集中的に食べられてしまいます。しかし、しばらくすると、Bの数が減って、AがBを上回るようになります。すると、今度はAが集中的に食べられるようになります。今度はAが減ってBが増え、Aを上回るようになります。そのあともこのようなことが繰り返されます。こうして、捕食者が数の多い方を食べることで、どちらの種もいなくなるというわけです。

#### Track 16

11番 先生が、顧客満足度について話しています。この先生が挙げる例で、顧客満足度はどの順序で変化しましたか。

企業が提供している様々なサービスに対して、顧客が満足しているかどうかを、図のようなモデルで表すことができます。図の縦軸は、顧客が、そのサービスをどのくらい期待しているか、という顧客の期待の程度を示しています。横軸は、あるサービスがどの程度提供されているか、実行の程度を表しています。顧客の期待が高いのに、サービスの実行度が低い場合は、Aの「不満足空間」に入り、サービスの実行度が高ければ、Bの「満足空間」に入ります。また、顧客が特に期待しているわけではないけれども、あるサービスが十分に提供されていない場合は、Cの潜在的な不満足として捉え、サービスが十分に提供されている場合は、Dの潜在的な満足と捉えます。

では、あるビジネスホテルの例を考えてみましょう。このビジネスホテルでは、各客室に小さな浴室があるだけでしたが、顧客はそれが当然だと思っていました。しかし、客室の浴室とは別に、大浴場を作ったところ、大きなお風呂はリラックスできて疲れが取れると大好評でした。その情報が広がって宿泊客が増え、大浴場をターゲットにこのビジネスホテルを繰り返し利用する客が増えたのです。

12番 先生が授業で、ミツバチの実験について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

私たちは、日に映る映像そのものを見ているのではありません。一番上の図を見てください。真ん中に、下が平らで上がとがった白い三角形が見えませんか。しかし、実際には線も色もありません。では、ミツバチもこのような錯覚をするのでしょうか。

まず、実験1の図を見てください。アとイには斜めの線が書かれていますが、アとイでは違う方向に書かれています。このような二つの図を用意し、アの図の中央の穴には普通の水を、イの図の中央の穴には砂糖水を置きました。そしてこれらの図を、通路の奥に一つずつ置いて、ミツバチを放しました。ミツバチは、通路を何度か行き来するうちに、イの図のほうへ飛んで行くようになりました。どちらに砂糖水があるかを学習したのです。次に、実験2の図に変えると、最初からエの図のほうへ飛んで行きました。では、実験3の図を見てください。この図には、斜めの線は書かれていませんが、ミツバチはこれまでと同様に、カの図のほうへ飛んで行きました。しかし、実験4では、ミツバチはどちらか一方の図を選ぶことができませんでした。つまり、線がない部分にも線があるかのように錯覚するかどうかについてまとめると、どんなことが言えますか。

## 🎧 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらおう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 男子学生と、先輩の女子学生が、大学祭の準備をしています。この女子学生は、来場者への説明について、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

男子学生：あー、ちょっと、緊張してきたな。

女子学生：あ、ロボットの説明が心配なの？

男子学生：はい、大学祭は初めてだから、どんな人が見に来るかわからなくて。

女子学生：去年は、子どもからお年寄りまで、たくさん見に来てくれたよ。でも、緊張するのは一人目だけで、あとはすぐ慣れると思うよ。

男子学生：え、子どもも来るんですか…。

女子学生：もちろん。

男子学生：あー、じゃ、小学生にはわかりにくいかもしれないです。準備した説明に難しい言葉があるんで。

女子学生：うーん、それは、相手に合わせて、使う言葉を選ばないと。難しい言葉ばかり

だと、すぐ飽きちゃうんじゃないかな。

男子学生：そうですね。じゃ、もう一度見直してみます。

この女子学生は、来場者への説明について、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

1. 聞き手の年齢によって、説明の言葉を変えたほうがいい。
2. 緊張しないように、何度も練習したほうがいい。
3. 子どもが聞きやすいよう、目を見て話したほうがいい。
4. 二人目以降も、緊張感を持って説明したほうがいい。

Track 23

14番 先生が、生物学の授業で、ある種類の鳥の歌い方について話しています。この先生は、実験によって、この鳥についてどのようなことがわかると言っていますか。

鳥は成長すると、種類によって、それぞれ異なる歌い方をします。この歌い方は、生まれつき知っているものなのでしょうか。それとも生まれた後に学習するのでしょうか。実験によって、興味深いことが分かりました。ある種類の鳥は、まだ幼いときに親や仲間から引き離されると、ちゃんとした歌い方はできるようになりません。しかし、そこで、録音した同じ種類の鳥の歌声を聞かせると、その声に興味を示し、やがて同じように歌い始めます。一方、別の種類の鳥の歌声を聞かせても、関心を示さず、別の種類の鳥の歌を歌えるようにはならないのです。

これは、鳥が生まれつき、自分の仲間の歌かどうかを識別する「型」のようなものを持っていて、その型を使って、仲間の歌い方だけを学習したのではないかと考えられます。

この先生は、実験によって、この鳥について、どのようなことがわかると言っていますか。

1. 生まれたときから自分と同じ種類の鳥の歌を歌う。
2. 生まれて初めて聞いた歌だけを覚えて歌う。
3. 自分と同じ種類の鳥の歌い方を聞き分けて歌えるようになる。
4. 学習すれば、違う種類の鳥の歌も歌えるようになる。

Track 24

15番 先生が、新しいペットボトルについて説明しています。この先生は、新しく開発されたペットボトルのこれから解決すべき問題点は何だと言っていますか。

ペットボトルは生産量そのものが非常に多いので、企業は資源の節約やコストの削減のために、ペットボトルの軽量化に努めています。軽量化が進めば、リサイクルにかかるコストやエネルギーの問題も改善されます。

最近、新たに開発されたペットボトルは従来のものよりもかなり薄く、軽くなっていま



す。ペットボトルが薄くなったと聞くと、壊れやすくなると思うかもしれませんが、新しいペットボトルは、ボトルに波のような溝を入れて、圧力を分散させ、強度を保つしくみになっています。

ただ、ペットボトルの素材はもともと酸素を通しやすく、薄くすればするほど中身が酸化しやすくなります。そのため、新しいペットボトルの利用は、今のところ、水など、酸化の影響を受けにくいものに限られています。これから利用を広めるためには、さらなる技術開発が求められています。

この先生は、新しく開発されたペットボトルのこれから解決すべき問題点は何だと言っていますか。

1. コストが高いこと
2. リサイクルが難しいこと
3. 壊れやすいこと
4. 中身が変質しやすいこと

Track 25

16番 男子学生と女子学生が、食べ物の味がわからなくなる「味覚障害」について話しています。この女子学生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

男子学生：ねえ、味覚障害って聞いたことある？

女子学生：うん、食べ物の味がよく分からなくなるんでしょ？

男子学生：そう。実は僕、その味覚障害かもしれないと思って。どうも味の感じ方がおかしいんだ。

女子学生：亜鉛不足かな。味覚障害はたいてい亜鉛不足から起こるんだって。

男子学生：亜鉛かあ。亜鉛ってどんな食品に含まれてるの？

女子学生：レバーとか、わかめやこんぶなんかの海藻類、あとは、ごまかな。

男子学生：どれもあんまり好きじゃないなあ。栄養剤を飲もうかな。

女子学生：それよりもまずは病院で診てもらったほうがいいよ。ストレスや疲れからくる一時的なものかもしれないし。栄養剤を飲むのはそれからでも遅くないんじゃない？

男子学生：そうだね。

この女子学生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

1. 亜鉛を多く含むものを食べるといい。
2. 栄養剤を飲むといい。
3. 病院で診察してもらうといい。
4. ゆっくり休むようにするといい。

17番 先生が、科学の研究について話しています。この先生は、科学研究のどんな役割に注目していますか。

みなさんは、「人の役に立つ科学の研究」というのはどういうことだと思いますか。よく「科学技術」という言葉で、「科学」と「技術」が一緒に使われることがありますが、私は、本来、科学と技術は別のものであると考えています。科学の研究が、新しい病気の治療法や薬の開発といった技術につながるのは、素晴らしいことです。しかし、科学研究は、社会的・将来的に役立つ結果を残すことだけが役割ではありません。昔から人間が気づいていたことを科学的な理論を用いて説明し、「なんとなくそうじゃないかと思っていたけど、なるほど、やっぱりそうだったんだ」と納得させること。私は、これが科学研究の本来の役割ではないかと思っています。

この先生は、科学研究のどんな役割に注目していますか。

1. 技術開発につながる理論を生み出すこと
2. 様々な現象を理論的に説明すること
3. 人間社会の将来を明確に予測すること
4. 役立つ新しい技術を開発すること

18番 先生が、スポーツの新しい考え方について話しています。この新しい考え方では、スポーツをどのように行ったらいいと言っていますか。

最近、スポーツに対する新しい考え方が出てきました。スポーツをする人には、若くて元気な人もいれば、お年寄りもいるし、一人一人の能力や体力、環境は様々です。ですから、誰もがスポーツ選手と同じようなやり方でスポーツをすると、無理をしまい体を壊したり、また、勝ち負けにこだわるあまりスポーツを楽しめなくなったりします。そこで、人間がスポーツのルールに合わせるのではなく、参加する人の多様性を考えて、人にスポーツのルールを合わせるが必要になってきたのです。

この新しい考え方では、スポーツをどのように行ったらいいと言っていますか。

1. 勝つために体力作りを重視する。
2. 技術やタイムを競って勝つことを目指す。
3. スポーツ選手と同じルールを使う。
4. 参加者の能力に合わせてやり方を変える。

19番 男子学生と女子学生が、服を着るということについて話しています。この男子学生は、大昔の人にとって、服を着ることの一番の意味は何だったと言っていますか。

男子学生：ねえ、人が昔から服を着てるのは、どうしてだと思う？

女子学生：それは、服を着ていないと恥ずかしいからじゃない？あと冬は寒いし。

男子学生：うん、それもあるけど、もっと違う意味もあるんじゃないかって、今日授業で聞いて思ったんだ。

女子学生：え、何？

男子学生：大昔の人はさ、動物の皮とかで服を作ってただろ。

女子学生：うん。そうだね。

男子学生：寒さをしのいだり、体を守ったりももちろんだけど、それより、おまじないのように、自分たちが倒した動物の皮を着ることによって、野生の生命の力いのちみたいなものをもらって、自分が強くなるっていう意味があるんじゃないかって思うんだ。

女子学生：へえ、狩りをして生活していた人たちにとっては、そういうことのほうが大事ってこと？

男子学生：うん。

この男子学生は、大昔の人にとって、服を着ることの一番の意味は何だったと言っていますか。

1. 寒さから身を守ること
2. 恥ずかしさを感じないこと
3. 狩りで動きやすくなること
4. 動物の生命力を得ること

20番 先生が、授業で高齢者の介護について話しています。この授業で、このあと話題になるのは、どんなことですか。

年をとって一人で暮らせなくなると、人は誰かに世話をしてもらい、つまり介護が必要になります。介護は、高齢者の家族がするとは限らず、専門家が行うこともあります。自宅で介護を受けられない場合は、大きな施設で専門家の介護を受けることがありますが、家庭的な環境が失われやすいのがこのケースの問題でした。そこで、一般住宅を使った小さな施設で、少数の高齢者が専門の介護を受けるという新しい施設が誕生しています。家庭的な雰囲気がお年寄りの心を明るくする効果が考えられます。このように介護の形は多様化してきていますが、新しい介護のことは一般にあまり知られていないようです。高

齢者や家族が介護の形を自由に選べるようなしくみを作るにはどうすればよいか、今日はそこから考えてみましょう。

この授業で、このあと話題になるのは、どんなことですか。

1. 自宅で介護をする方法
2. 大きな介護施設の利点
3. 介護方法を選ぶしくみ
4. 小さな介護施設の問題

Track 30

21番 先生が、生物の授業で話しています。この先生は、ホタルイカが光るのは、どうしてだと言っていますか。

みなさんはホタルイカというイカを知っていますか。ホタルイカは、体のいくつかの部分に光る器官を持っていて、光を出しています。では、何のために光るんだと思いますか。実は、ホタルイカが光るのは太陽が出ている昼間だけです。泳いでいるホタルイカの体の上半分、背中側に太陽の光が当たると、体の下半分、つまりお腹の側は影になります。すると、ホタルイカより深いところにいる魚からは、ホタルイカが黒く見えることになります。明るい海の中で黒く目立ってしまうと、ホタルイカをえさとする大きな魚にすぐに見つかってしまい、食べられやすくなってしまいますね。それでホタルイカは、自分の体に受ける光と同じ明るさの光をお腹の側から発しているのです。

この先生は、ホタルイカが光るのは、どうしてだと言っていますか。

1. えさをおびき寄せるため
2. 自分の体を大きく見せるため
3. 敵を発見しやすくするため
4. 敵から見つかりにくくするため

Track 31

22番 男子学生と女子学生が、あるボランティア活動について話しています。この女子学生がしている活動は、どんな内容ですか。

男子学生：ねえ、ボランティアで、捨てられたネコや飼い主のいないネコにえさやってるんだって？

女子学生：うん。かわいそうなネコを一匹でも減らしたいと思って、そういうボランティアグループに参加してるんだ。

男子学生：それって、つまり、その団体が飼ってるってこと？

女子学生：ううん、そうじゃなくて、えさをやり続けて、ネコが人間に慣れたところで捕まえるの。それで、新しい飼い主を探したりしてるんだ。飼い主が見つければ、人間にとってもネコにとってもいいでしょ。

男子学生：なるほどね。でも、それより、飼い主の無責任な飼い方について訴えたほうがいいんじゃない？

女子学生：うん。それもやりたいとは思ってるんだけどね。

この女子学生がしている活動は、どんな内容ですか。

1. ネコの前の飼い主を探すこと
2. 病気のネコをつかまえて保護すること
3. 飼い主のいないネコを減らすこと
4. 責任をもってネコを飼うように飼い主に呼びかけること

### Track 32

23番 女子学生が、ある自治体の取り組みについて発表しています。この自治体で新しく始めた事業とはどのようなものですか。

今日は、ある自治体が新しく始めた取り組みについてご紹介したいと思います。この自治体には、生活資料館という施設があり、昔使われていた生活道具などを展示しています。この資料館と、高齢者が集まる施設が協力しあって、新しい取り組みが始まりました。それは、お年寄りに昔の道具を見てもらって、昔のことを楽しくおしゃべりしてもらおうというものです。そこで、昔のお弁当箱や洗濯に使った道具、古い教科書などを一つの箱にまとめ、この箱を高齢者が集まる施設などに、無料で貸し出すことにしました。

懐かしい道具をきっかけに、高齢者が子ども時代を思い出し、楽しく話して、心も元気になればいいと思います。

この自治体で新しく始めた事業とはどのようなものですか。

1. 資料館に高齢者を無料で招待する事業
2. 資料館の古い道具を高齢者がいる施設に貸し出す事業
3. 資料館で昔の生活道具を展示する事業
4. 資料館で古い道具について高齢者に説明してもらう事業

### Track 33

24番 通信販売サービスセンターの男性と客の女性が、注文した商品の扱いについて話しています。この女性は、その商品をどうしますか。

男性：はい、東京通信販売サービスセンターです。

女性：あ、う、注文した商品に壊れてるところがあつて。

男性：申し訳ございません。すぐにお取り替えいたしますので、こちらにお送りください。

女性：ああ、送料はどうなりますか。

男性：商品が到着して2週間以内でしたら、送料はこちらで負担いたします。

女性：あ、う、実は、箱を開けずに、2週間過ぎちゃったんですけど。

男性：そうしますと、まだ保証期間中ですからお取り替えはできますが、送料はご負担いただくことになります。

女性：わかりました。商品の保証書はこちらで保管しておいていいですか？

男性：いえ、それも同封なさってください。

女性：わかりました。

この女性は、その商品をどうしますか。

1. 交換する。
2. 返品する。
3. 修理する。
4. 保管する。

### Track 34

25番 先生が、経営学の授業で、ある弁当屋の販売戦略について話しています。この販売戦略の特徴は、どのようなものですか。

商品販売においては、商品が売り切れてしまうことは、利益を得る機会を逃すことになります。ですから、最初から売れ残ることも考えて、たくさんの商品を揃え、売れ残り分を計算に入れて値段を決めることが、ビジネスの世界の常識です。

しかし、今日はその常識を覆したある弁当屋の販売戦略についてお話しします。この店では、売れ残りを出さないように、毎日必ず夕方に半額セールをしています。当然、定価で販売するよりも利益が少なくなる上に、夕方に半額になることをお客も知っているのに、定価では売れにくくなってしまいます。しかし、このセールには、材料の無駄を省いたり、売れ残り分が定価に反映されるのを防いだりする、さらには従業員が「売れ残りを見込んでいるのだから、売れ残っても問題ない」という気持ちになるのを防ぐという効果があるのです。

この販売戦略の特徴は、どのようなものですか。

1. 商品を売り切ることを目指すこと
2. 商品を必ず定価で販売すること
3. 売り切れないように商品を十分に揃えること
4. 売れ残り分を計算に入れて値段を決めること

26番 男子学生が、電車内での携帯電話の使用と人々の反応を調査した結果を報告しています。この男子学生は、携帯電話の使用に反応した人の割合について、どのようなことがわかったと言っていますか。

電車の中で携帯電話をどのように使うと、周りの人は反応するのか、実際に電車に乗って、乗客を観察して調べてみました。その結果、電車の中でのメール操作については、周りの人々はあまり気にとめないのに比べ、通話については、電話している人のほうを振り返るなど、反応を示す人が多いことがわかりました。このような反応は、朝夕の混雑時でもそれ以外の時間でも、ほとんど違いが見られませんでした。

また、携帯電話の電源をOFFにしなければならない車両が設けられている鉄道で、そのような車両と一般の車両を比較してみました。人々の反応に違いは見られませんでした。ポスターやホーム内の放送で、電源OFF車両では携帯の電源を切るように呼びかけていましたが、こうした呼びかけにはあまり効果がないこともわかりました。

この男子学生は、携帯電話の使用に反応した人の割合について、どのようなことがわかったと言っていますか。

1. 電車がすいている時より、混んでいる時のほうが多い。
2. メール操作に対してより、通話に対してのほうが多い。
3. 一般車両より、電源OFF車両のほうが多い。
4. ホームより、電車内のほうが多い。

27番 先生が、健康心理学の授業で話しています。この先生が問題だと感じているのは、どんなことですか。

誰でも健康でいたい、なるべく病気にはなりたくないと思っていますね。しかし現実には、私たちは、すぐに体に悪い影響が現れないようなことについては、過小評価、つまり実際より問題を小さく評価する傾向があります。健康を害するおそれがあると分かっているにもかかわらず、自分が好きな食事ばかりを選んで、偏った食生活を送っている人が大勢いるでしょう。過度な飲酒や喫煙なども同じです。今、特に痛みを感じるわけでも、調子が悪いわけでもないのに、客観的に考えて、自分にも病気の危険があるとは強く思えないのです。実は、これは自ら病気になる可能性を高める行動を選んでいるともいえる、重大な問題です。

この先生が問題だと感じているのは、どんなことですか。

1. 健康に気を遣いすぎて、神経質になってしまうこと
2. 健康に害を及ぼすものが多く出回っていること

3. 健康に悪いものに対する正しい評価ができないこと
4. 健康に自信の無い人が増えていること